

令和4年度 みんなで支える森林づくり木曾地域会議（第1回）実施概要

1 日時 令和4年9月5日（月） 午後1時から4時まで

2 場所 現地及び木曾合同庁舎 401、402 会議室

3 出席者

【構成員】（敬称略）

倉橋孝四郎、越原道廣、坂家重吉（座長）、竹俣久美子、田中淳司、二宮美香、
安原千佳世

【木曾地域振興局】

神事局長、中宿林務課長、小林課長補佐兼林務係長、松尾課長補佐兼普及林産係長、
狩戸課長補佐兼治山林道係長、地域振興局林務課関係職員

4 実施内容

（1）現地視察調査

木祖村菅地区【視察資料のとおり】

「令和3年度里山整備利用地域活動推進事業」及び「令和3年度防災・減災のための里山整備事業」の事業地である木祖村菅地区の事業地の状況を視察しました。

里山整備利用地域協議会を構成し、伐採跡地へのコナラの植栽の様子や伐採した広葉樹を薪として販売し、継続的な活動の取組について説明を受けました。

また、防災・減災のための里山整備事業として、カラマツの搬出間伐を行った現場も視察していただきました。

構成員の皆様からは事業に関しての多くの質問があり熱心に視察されていました。



（2）会議事項

1) 令和3年度森林づくり県民税活用事業 木曾地域の実績について【資料1、2】

2) 令和4年度森林づくり県民税活用事業 木曾地域の実施内容について【資料3、4】
事務局から上記1)、2)について資料を基に説明し、ご質問、ご意見を伺いました。

※ 以下、「森林づくり県民税」は「森林税」と表記します。

【構成員の皆様からの主な意見等】

- （この会議に初めて構成員として参加される方が多いため、森林税に関する基本的な部分での質問）
 - ・森林税を導入した目的
 - ・全国の導入状況⇒森林税導入の背景（資料2の39ページ）と全国の導入状況について説明。



- 森林税に対する意見（1）

地元を離れる等して、若い人たちが山に行かなくなっており、里山の整備が自分たちでできなくなっている。

このため、生活道路沿いの藪を刈ることもままならず、クマ・サル等が出没しやすい環境となってしまった。

そういった課題を解決するために、森林税を活用して生活しやすい環境を創っていくという認識でいる。



- 森林税に対する意見（2）

人口減少やライフスタイルの変化等で山に入らない人が多くなっていく中で、森林の整備に税金が使われることは大事なことだと思っている。また、木曾の中でも森林税が必要ところで活用されていると感じている。

森林税のメニューの中でも、2050ゼロカーボンを打ち出している長野県では、薪によるエネルギーの地消地産推進事業により支援していくことは大事なことだと思う。

また、ウッドショックにより製材業の皆さんは大変な状況にあると思うし、製材業は大事な産業であると考えているので何らかの支援が必要だと思う。

- 森林税の広報について

集落の中でいつも日当たりの悪い場所だったところが、急に日当たりがよくなったことがあった。周りの山がきれいに整備されていて、資料の中にある写真がその場所であるが、今回、資料を拝見して森林税を活用した事業だということが分かった。

⇒森林税を活用して整備したことをPRするのぼり旗を活用してPRしている町村もあれば、そういったことがなく住民に理解されていないところもある。町村の広報が必要である。

●森林林業の課題について

人口減少に伴って森林組合や林業事業体等、山に携わっている人たちの人材の確保が、今後、難しくなっていくと考えている。

近年は、集中豪雨による災害が多発し、土砂崩れにより間伐してあった木が流されてきたことによる災害も発生している。間伐した木の活用方法が課題であると考えている。

●人材の確保について

人口は減っているが山の面積は変わることはない。

山の仕事には危険が伴い、危険であるにも関わらず給料が安いのでは人材は集まらない。少々、危険が伴ってもお金になるのであれば林業をやってもいい、と思う人もいるのではないかと感じる。条件が良くなければ人材も集まらないと感じている。

●若い世代への教育

木の価値が分からない人が多くなり木を使ってくれなくなったが、木を使ってくれないと木の単価も上がっていかない。また、少し値が上がったからと言って木を使わなくなる人が多い。

木曾でも山に入ったことがない、ヒノキに触れたことがないという子どもたちがいるので、子供たちに木の良さを知ってもらうことが大事である。森林税の中には木工体験教室への支援もあるが、実際に木工教室に携わってみると子どもたちは熱心に取り組んでいる。そういう子どもたちが、将来家を作るときに少しでもいい材料を使ってほしいと思っている。

子どもたちへの教育にもっと力をいれたらよいのではないかと感じる。